

令和5年度 職員自己評価(保育)結果

4:十分できている 3:ほぼできている 2:やや不十分である 1:不十分である

1 保育の理念・目標・計画・評価

	内 容	4	3	2	1
1	法人理念、園の保育目標、保育方針を理解し説明できる	3%	57%	25%	3%
2	計画は理念や保育目標、方針に基づき、こどももの興味関心、これまでの生活や予想される生活等を考慮して作成している	9%	59%	6%	3%
3	計画や実践の振り返りを十分に行い、改善や充実を図っている	6%	56%	12%	3%

こどものことを考え保育しているが、常に頭の中に理念があるわけではないので意識していきたい。自分の保育を振り返り、反省点・改善点を考えて次の保育に繋げることができた。保育時間内のヒヤリハットはすぐに共有し改善するように努めた。計画や実践の振り返りは、クラス全体で共有し次の計画に反映するようにしたが、議論が不十分のまま行っている部分もあるのでしっかり話し合い改善していきたい。

2 保育の内容

	内 容	4	3	2	1
1	こどもの主体性が尊重される保育の展開が出来ている	15%	59%	15%	0%
2	こどもと温かなやりとりやスキンシップでコミュニケーションを図り信頼関係を築いている	46%	43%	6%	0%
3	禁止や命令の言葉を不必要に用いていない	15%	62%	18%	0%
4	身体的、精神的、情緒的発育等、多面的にこどもの状態を把握している	15%	71%	9%	0%
5	こどもの行動を不必要に急がせたり、自信を失わせるような態度はせず、安心感と自己肯定感を持てる言葉かけや対応をしている	21%	62%	12%	0%
6	安心して過ごせる安全で衛生的な環境を整えている	40%	53%	3%	0%
7	こどもたちがお互いに認め合い、尊重する心を育ていられるよう、人権や多様性に配慮した保育を心がけている	34%	59%	0%	0%

子ども主体の保育をめざし、活動しているが集団で保育をしているのでひとり一人を尊重して保育をするのは難しかった。忙しくなる時間でもこどもが安心できるよう落ち着いて保育をしていくことを意識した。

とっさの時に禁止のことばが先に出てしまうこともあるので気を付けていきたい。主体性を大切にしつつも保育士の人数や配置により保育士が主体となってしまうこともある。配慮の必要なこどもへの伝え方でうまく伝えられないことも多く悩みが多かった。

3 組織・役割分担

	内 容	4	3	2	1
1	挨拶(こども、保護者、職員間)は笑顔で会った瞬間に自分からしている	59%	31%	0%	0%
2	上司や先輩、同僚からのアドバイスは素直に謙虚な姿勢で受け答えができています	40%	50%	0%	0%

3	伝達・報告を確実に言い、情報の共有がしっかりできている	12%	65%	12%	0%
4	締め切りのある仕事や、会議や打ち合わせの時間を守っている	28%	56%	6%	0%
5	当番や役割による仕事を理解し、責任を持ってやり遂げようとする	40%	46%	3%	0%
6	業務がスムーズに行えるよう協力したり、助けあっている	43%	46%	0%	0%
7	クラスに関係なく、その場にいた職員が適切な言葉掛けや対応をしている	15%	71%	6%	0%
8	専門知識や技術を身に着ける努力をしている	3%	50%	31%	0%

伝達しているつもりでも十分でないことがある。締め切りを守れていないので意識を持たなければならない組織として動いているため、ひとりよがりの行動にならないように気を付けている。他クラスの職員とも積極的にコミュニケーションをとり、困っていることや悩み事がないか尋ねなるべくストレスなく過ごせるよう配慮した。普段から声をかけ相談や話をしやすいよう働きかけている。

役割のある仕事を行うが、要領・手際の悪さで遅くなってしまう。計画をしっかり立てて行っていきたい。

4 家庭・地域

	内 容	4	3	2	1
1	保護者に対して丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけ、信頼関係を得る努力をしている	40%	56%	0%	0%
2	保護者からの様々な訴えや要望、意見は主任園長に相談して真摯に対応している	37%	50%	0%	0%
3	保育情勢や福祉サービスに関心を持ち、保育所が社会に貢献できることは何かを考え、実践できる	6%	46%	37%	3%

朝の短い時間でも保護者が安心できるような声掛けをすることで信頼関係の構築に努めた。こどものことだけでなく保護者の子とも考えた。社会貢献とは大きくとらえられているが、子育て支援等で言葉をかわすだけでも子育ての助けになると考えている。保護者対応をし、良かれと話すこともうまく伝わらないこともあり難しさを感じた。

5 事務・管理

	内 容	4	3	2	1
1	必要な情報をわかりやすく記録できている	3%	65%	15%	0%
2	日誌や個人の記録や情報は、適切に記載し整理保管できている	21%	50%	0%	0%
3	園内で知り得た事柄に対して、守秘義務は徹底できている	85%	15%	0%	0%

日誌や生活ボードでエピソードを記載することが難しい。自分ではわかりやすく記載したつもりでも第三者には伝わらづらいこともあると感じる。日誌がエピソード記録に変わり、書きやすくなった一方でエピソードの選出が難しく内容がぼやけてしまったことが多々あったので改善していきたい。ICT化に向け知識・技術を身につけなければいけない。連絡帳の返却忘れ、間違い等ないよう気をつけていきたい。

○5年度、業務の中で頑張って取り組んだこと、その結果を具体的に挙げてください

自分が今何をすべきか、自ら仕事をみつけて動けるよう努力した。保護者と顔をあわせて話せる機会が増えたので日々の成長や日中の様子を保護者に積極的に伝えた。こどもについて話し合う時間がなかったが、ケース会議の時間を設定することで多くの職員が子どもひとり一人の深められるようになってきた。

個々の発育を考え、保育の展開をした。こどもの姿を相談し最善を考え業務にあたった。復職支援の高校講座でのテキスト作りを主となって作っていった。主体的な保育を大事に行った。こどもたちが自分たちで行動している姿を見て嬉しく感じた。

○5年度自己評価を受け、6年度の目標を挙げてください

広い視野を持ちリーダーとしてのアドバイスや配置などの把握を積極的に行うようにしたい。こどもたちとゆったり過ごせるように時間によゆうを持った計画を立てる。

ひきつづき声掛けを重視し、それに加えこどもひとり一人に合わせた対応を心がけたい。

個別配慮の必要な児も多くなるので研修を踏まえて個の対応の仕方を考え配慮していきたい。

行事に慣れることを優先にしてきたが、積極的に意見やアイデアを出していきたい

ICT化に向けてパソコンの勉強をしていく。保育所として社会貢献できることはないか考えていく。

集団生活の中でそれぞれの子どもがのびのびと過ごせるよう、保育の仕方、子どもとの接し方を考える。